

化学委員会 材料化学・分析化学分科会(第26期・第4回)
議事要旨

日時:令和6年12月27日(金) 材料化学・分析化学分科会 (16:00-16:50)

場所:(ハイブリッド開催) 日本学術会議6A-(1) 会議室、オンライン (Zoom)

出席者(敬称略): 栄長 泰明(委員長)、玉田 薫(副委員長)、齋藤 公児(幹事)、内藤 俊雄(幹事)、阿尻 雅文、伊藤 耕三、岡本 裕巳、上野 祐子、加藤 知香、加藤 昌子、川崎 ナナ、佐藤 縁、菅原 洋子、竹内 孝江、竹岡 裕子、藤本 俊幸、宮崎 あかね

欠席者(敬称略): 関根 千津、寺西 利治、馬場 嘉信、山下 正廣

配布資料: なし

議事次第

1. 前回の議事録について

前回(12月11日(水) 第3回分科会(勉強会))の議事録(案)が確認され、承認(確定)された。

2. 今後の活動について

栄長委員長が準備した資料(ppt)に基づき、まずこれまでの本分科会の足取りが説明された。具体的には「設置の意義」、「第1回分科会(2024年3月22日(金))の概要」、「第2回分科会(2024年7月30日(火))の概要」、「第1回勉強会(第3回分科会)2024年12月11日(水)の概要」について簡潔に振り返った。その後「今後の活動」の方向性として箇条書きで項目が示され、2025年秋ごろの「フォーラム(公開)」開催を目指して、今回の分科会ではその方針(タイトル、開催時期、会場、規模)に関する意見交換を行うという趣旨が説明された。

その後各委員から様々な意見が出された。まとめとして、「マテリアルを支える分析、分析を支えるマテリアル」を10年後の展開や必要性を見据えて、トピックをバイオなど特定のキーワードに限定せずに幅広く取り上げるフォーラムとする。この観点から適切な講演者をこの後各委員からメールで委員長まで推薦することになった。

以上 内藤記